

【鳥取県の全体目標】 がんによる死亡者の減少 75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を**61.0未満**とする (令和10年度まで) (男女別の目標値 男性：74.0未満 女性：46.0未満)

【中期目標】 がんと診断された時から患者と家族が抱える様々な苦痛に対する適切な緩和ケアを提供できる体制を整備する。

前年度の目標	①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育を行う。②緩和ケアを必要とする患者・家族に適切な緩和ケアが提供できる体制を構築する。③緩和ケアに精通した医療スタッフの育成を行う。	
	前年度Plan	前年度Act
	<p>①医療従事者への基本的緩和ケアに関する教育 (緩和ケア研修の多職種参加推進(PEACE研修含む),看護師向けの研修"ELNEC-J"開催,地域医療機関向けの研修開催)</p> <p>②緩和ケアを必要とする患者・家族に適切な緩和ケアが提供できる体制構築 (苦痛スクリーニングの実態調査,緩和ケアチーム紹介の適切性の評価,緩和ケアチーム紹介方法の見直し,地域医療機関との連携強化)</p> <p>③緩和ケアに精通した医療スタッフの育成(緩和ケアを専門とするスタッフの育成,リンクナースの育成・機能強化,多職種カンファレンス開催)</p>	<p>①緩和ケア研修会(PEACE研修)には医師以外に看護師や薬剤師、リハビリセラピスト等、多職種の参加が散見される。しかし、医師・看護師以外の職種には内容が難しいとの声も出ている。研修開催方法や参加募集を工夫しながら量も質も担保した研修開催が必要である。その他の研修開催は施設により様々であるが、概ねWeb若しくは集合研修を企画・実施できている。緩和ケアの普及啓発のための研修は継続して実施することが望まれる。特に在宅医療への支援体制推進は鳥取県がん対策基本計画で取り上げられた課題であり、地域医療機関向けの研修や連携構築は重要である。</p> <p>②県・地域拠点病院を中心に苦痛スクリーニングの実施から緩和ケアチーム紹介への流れを整備して実践できていた。各施設で必要な患者に緩和ケアを提供できるための取り組みも進められており、継続して実施していくことが望まれる。</p> <p>③殆どの病院で新たな専門スタッフは育成できていない。緩和ケアを専門とするスタッフの育成は引き続き県内全体の課題である。</p>

今年度の目標	①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育を継続する。 ②緩和ケアを必要とする患者・家族に適切な緩和ケアが提供できる体制を構築する。 ③緩和ケアに精通した医療スタッフの育成を行う。			
	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検・評価)	Act(処置・改善)
	<p>①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修の多職種参加推進(PEACE研修含む) 看護師向けの緩和ケア研修"ELNEC-J"参加推進 地域医療機関向けの緩和ケア研修開催 <p>②緩和ケアを必要とする患者・家族に適切な緩和ケアが提供できる体制構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアの提供体制の整備 <p>(緩和ケアを必要とする患者のpick up,診療体制の整備など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアチーム紹介の適切性の評価 (必要時)緩和ケアチーム紹介方法の見直し 地域医療機関との連携強化 市民に対する緩和ケア啓発 <p>③緩和ケアに精通した医療スタッフの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアを専門とするスタッフの育成 リンクナースの育成・機能強化 多職種カンファレンス開催 			